

令和5年度 第1回 運営会議ニュース

日時	令和5年5月14日(日) 13:30~15:00
場所	県立座間谷戸山公園 里山体験館
出席者	10名

～議題～

令和5年度の会長選出

(公園)運営会議の規約第3条により、委員からの互選で会長の選任をお願いします。⇒委員の推薦により、前年度に引き続き、脇田さん(谷戸山野鳥と自然観察グループ他所属)が選任された。

各ゾーンエリアの管理について(各団体等からの報告事項)

●グリーンタフ・谷戸山公園グループ

3月19日参加者13名参加。新緑でにぎわう春を楽しんだ。体験館前ではアズミ、モモ、ヒメリュウキンカ、クリスマスローズを見ていただいた。またヤマザクラ、エドヒガン、コブシ、イチリンソウが咲いていて説明を行った。

4月16日参加者10名参加。サルスベリ、ナツメの木はお寝坊の木。やっと若葉が展開し始めている事に注目。ムサシアブミの花を観察しサトイモ科テンナンショウ属は成長状況により雌雄性転換することを話す。コクサギの若葉に触れると手に匂いが移り、ルーペで葉を見ると星空のように油点が透けて見える。田んぼではオオイヌノフグリ、オヘビオチゴとヘビイチゴの違いについて話した。他にヒメコウゾウやミズキ、フジバカマ、ヤマブキ、オニグルミなどを観察した。

(検討、意見)

近年ムサシアブミ、フジバカマ、キショウブが増えている。

ムサシアブミ、フジバカマについては、落ち着いてくると思われるため様子見。キショウブについては増えすぎたら半分程度の除去を行う。

●ホタルを守る会

・4、5月に湿生生態園北水路の水路に光が入りやすいよう、保護植物ヤブカンゾウに注意しながら草刈と除去を行った。

・セキショウが繁茂し、水路の流れが悪くなるので次の作業の時に水路管理として除去したい。

●丸山専門員

シュレーゲルアオガエルが新しく作られた野鳥の原っぱの池や、普段鳴いていない場所で鳴いている。湧き水の谷カエル3号池にはオタマジャクシが残っていた。

●谷戸山自然ボランティア

・ログハウスのピオトープに水補給をしたが、オタマジャクシの生息が難しく、酸素不足だと思われるため酸素濃度計の購入希望。

・池内の循環ポンプの定期清掃、ビニールホースの景観改善。

・公園側が2月にわき水の谷の池の浚渫を行ったが、土の流入を防ぐために堰板を設置していたが、更に芝の根ストッパーで土の流入を防ぎたい。

●ふるさとフォーラム座間

・ハナショウブの「座間の森」が早めに咲く予想。そのための園路と土手の草刈を行った。

その他

●神奈川県厚木土木事務所東部センター

令和5年度の県の事業として、公園区域全体を対象にナラ枯れの伐採を行う。ナラ枯れ対策業務は、既に発注し現在施行中である。下の野鳥観察小屋の上から栈橋、手すりの改修を行う。あわせて多目的広場の四阿改修を予定している。

●公園

・5月16日から危険な枝の伐採があり6月上旬までの予定。

・南谷戸の除草5月16、17日、水鳥の池の除草5月23日、24日を予定している。

・5月20日の里山保全隊の作業は外来種の駆除予定。